

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/06/22

小テストの解答

問1

92%

- 「哲学用語だと文章で訳すわけにもいかない」理由を説明したか。

① 学問とは用語の体系だから。

② 難しい用語を使うことで学者の権威を示すため。

③ 難しい概念を日常生活に浸透させるため。

④ 漢字による造語という日本文化を振興するため。

問2

85%

• カントの認識論の要点は。

- ① 感覚 → 悟性 → 理性
- ② 個別 → 法則 → 概念
- ③ 法則 → 概念 → 個別
- ④ 感覚 → 理性 → 悟性

問3

75%

- アリストテレスとカントの間の大きな転換は何だと説明したか。

① 認識論から存在論への転換

② 存在論から認識論への転換

③ 合理主義から経験主義への転換

④ 実在論から唯名論への転換

問4

84%

- 「認識論」を英語で言うと。

① Ontology

② Epistemology

③ Empiricism

④ Rationalism

問5

49%

- アナクサゴラスは、知性(ヌース)をどのように考えたか。

- ① 人間の知性が世界を理解する。
- ② 人間の知性が世界に秩序を与える。
- ③ 神の知性が世界を理解する。
- ④ 神の知性が世界に秩序を与える。

問6

45%

- 幾何学における「前提」とは、具体的にどのようなものか。

- ① 同じものに等しいものは互いに等しい。
- ② 直角三角形の斜辺の2乗は残り2辺の2乗の和に等しい。
- ③ 一つの弧に対応する円周角は常に等しい。
- ④ ある正方形の2倍の面積の正方形は、対角線を一辺とするものである。

公理系

ユークリッドの公理

- ① 任意の一点から他の一点に対して直線を引くこと
- ② 有限の直線を連続的にまっすぐ延長すること
- ③ 任意の中心と半径で円を描くこと
- ④ すべての直角は互いに等しいこと
- ⑤ 直線が2直線と交わるとき、同じ側の内角の和が2直角より小さい場合、その2直線が限りなく延長されたとき、内角の和が2直角より小さい側で交わる。

定理：公理を出発点とし、推論規則で到達できる命題

推論規則

- ① 同じものに等しいものはたがいに等しい
- ② 同じものに同じものを加えると、同じになる。
- ③ 同じものから同じものを引いた場合、同じになる。
- ④ 重なり合うものは等しい。
- ⑤ 全体は部分より大きい